

運動体設計：活動 2023年度

https://www.iamas.ac.jp/master_projects/visions-in-motion/	研究代表者：瀬川 晃 研究分担者：赤松 正行 クワクボリョウタ 履修学生：志村翔太 對中優 松本太一 JoannaLiu 河合将也 塩澄祥大
≡ タグ	

研究概要

運動体とは、時間の経過とともに空間内の位置が変化する現象や活動と定義し、動機 (motive) となる題材 (motif) を見つけ、日々の実践を遂行するための知見や方法論を探索します。ラースロー・モホイ＝ナジ (1947) の言葉に基づき、知性と感情を、社会的要素と技術的要素のバランスを取った状態に保つことを出発点とし、アイデアを具体化するプロセスを検証し、公開することを目指します。

このプロジェクトは、任意のグループ「クリティカル・サイクリング (2016年～)」の実践を基盤とし、萌芽プロジェクト「プラクティカル・サイクリング」を経て、研究参加者との定期的な意見交換を通じて実施されています。

手法としては、クリティカル・サイクリングが自転車に乗ることを批評的に捉えている点に着目し、このプロジェクトでは何らかの「運動体」に関連する実践が、芸術的、社会的、学術的な意義を持つかどうかを検証します。ここでの実践とは、グラフィックを作る、詩を作る、映像を作る、ワークショップを作る、など様々な展開が想定されます。

クリティカル・サイクリング：<https://criticalcycling.com/>

前期の導入では、プロジェクト開始初年度として「運動体」のテーマを考えるためのワークショップ (ヨガ | パンタグラフィー | シェイク自転車) を実施した。後期では、ワークショップ (10番目の感傷 (VR) | マペット操演 | 野辺自転車レクチャー&ワークショップ) を実施した。並行して個々の実践を通じて企画展公募の提案書作成や、2024年度に実施を予定している学外企画展ためのリサーチおよびディスカッションを継続している。

前期後期を通じて研究参加者各自による実践をクリティカル・サイクリングのWEBサイトへ記事を公開した。個々の活動内容はこのWEBサイトで参照されたい。

WEBで掲載されている記事の主な内容は、実走調査 (Dark Touring：赤松正行) | デザイン実践 (Visions in Motion：瀬川晃) | レポート (志村翔太・河合将也・塩澄祥大) などがある。ダーク・ツーリングとして負の遺産を自転車で巡る実走調査を行い、運動体という観点でデザインを捉え直してみる実践、自転車による移動と生成AIと文学との試み、自転車と身体との関わりを歴史や社会から論考し、自転車とストリート・カルチャーとの関わりから作品制作を行う、といった個々人の興味関心を動機として、先行事例のリサーチと関連付けて考察している。

ワークショップ

- ヨガ | パンタグラフィー | シェイク自転車 | 10番目の感傷 (VR) | マペット操演 | 野辺自転車レクチャー&ワークショップ

都市自転車レクチャー&野辺自転車ワークショップ

運動体設計では、都市と野辺という対極的な環境における自転車を巡ってレクチャーとワークショップを行います。講師は...

<https://criticalcycling.com/2023/12/lecture-and-workshop/>



実走調査：Dark Touring：赤松正行

Dark Touring 01: フクイチ2023 前編

6月初めにツール・ド・フクイチ（筆者による造語）を行った。これは2018年に行った福島第一原子力発電所へのライ...

<https://criticalcycling.com/2023/06/dark-touring-01-tour-de-fukuichi-2023-1/>



Dark Touring 02: フクイチ2023 後編

福島第一原子力発電所を巡るツール・ド・フクイチ（筆者による造語）の2日目。まずは郡山海岸に向かい、立ち入り禁止...

<https://criticalcycling.com/2023/06/dark-touring-02-tour-de-fukuichi-2023-2/>



Dark Touring 03: トカプチ

7月初めに北海道に赴いた。空港に降り立った瞬間に笑みが浮かぶ。煌めく光と乾いた冷やかな空気が身体中の細胞が...

<https://criticalcycling.com/2023/07/dark-touring-03-tokapuchi-40-touring/>



Dark Touring 04: ニセコ

北海道で帯広を中心としたトカプチ40ツーリングの後はニセコに向かう。直線距離にして200km、自動車なら4時間...

<https://criticalcycling.com/2023/08/dark-touring-04-niseko-hallucination-touring/>



Dark Touring 05: 谷山集落跡

最近取り組んでいるダーク・ツーリングの実践として提案があり、谷山集落跡に出かけた。と言っても有名な観光地や重量...

<https://criticalcycling.com/2023/09/dark-touring-05-taniyama/>



Dark Touring 06: IAMAS旧校舎

IAMAS（情報科学芸術大学院大学）の旧校舎は移転以降10年近く、バリケードとセキュリティ・システムに閉ざされ...

<https://criticalcycling.com/2023/09/dark-touring-06-iamas-old-campus/>



Dark Touring 07: 成田国際空港

発着する飛行機を撮影しようと調べていたところ、成田空港の航空写真を見て驚いた。滑走路や誘導路の中に民家とおぼし...

<https://criticalcycling.com/2023/10/dark-touring-07-narita-airport/>



Dark Touring 08: 旧徳山村門入集落

日本最大の貯水量を誇る徳山ダム。そのダム湖によって当時約1,500人が住んでいた徳山村は水没し、全村廃村となっ...

<https://criticalcycling.com/2023/11/dark-touring-08-kadonyu/>



Dark Touring 09: 瀬戸内

本州と四国に囲まれた瀬戸内海。その海辺と島々は温暖で穏やかな気候で知られ、海産物や果物に恵まれている。その西部...

<https://criticalcycling.com/2024/01/dark-touring-09-setouchi/>

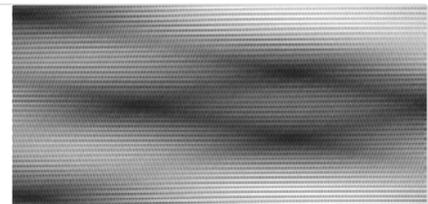


デザイン実践：Visions in Motion：瀬川晃

Visions in Motion 1：運動体とは何か

これまでプラクティカルと銘打ってきた投稿では、文字通り、実践の中から視野を広げる試みとしてきた。本来なら、背景...

<https://criticalcycling.com/2023/03/visions-in-motion-1/>



Visions in Motion 2：トポグラフィー その場所を描く

何かしらの表現活動をする場合、動機となるものが必要だ。今回はとある建築様式のモチーフをとり上げる。対象とする...

<https://criticalcycling.com/2023/04/visions-in-motion-2/>



Visions in Motion 3：パンタグラフィー 線で描かれるもの

身体と動き（その拡張性や認知のズレ）について思いを巡らし、過去に実施したワークショップの経験を反芻してみた。...

<https://criticalcycling.com/2023/05/visions-in-motion-3/>



Visions in Motion 4：バランス／アンバランス

生命レベルでは、私たち体内の60兆の細胞は絶えず入れ替わり、バランスを取りながらも、生から死へと進んでいる。形...

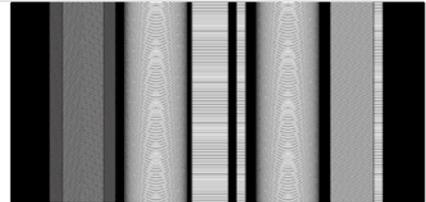
<https://criticalcycling.com/2023/06/visions-in-motion-4/>



Visions in Motion 5：脳内補完

再びモアレ（Moire）という現象を応用して、スリットアニメーション（Slit Animation）または、ス...

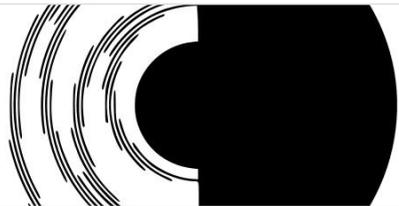
<https://criticalcycling.com/2023/07/visions-in-motion-5/>



Visions in Motion 6：モーションブラー

残像効果について考えてみる。20世紀初頭（1912～1921年）、未来派に属していたジャコモ・パツラは『鎖に...

<https://criticalcycling.com/2023/08/visions-in-motion-6/>



Visions in Motion 7：周辺視

写真を撮る時、画角を決める上で対象に近づいたり離れたり、ズームレンズを動かしたりトリミングする。比率は3:2にする...

<https://criticalcycling.com/2023/09/visions-in-motion-6-2/>



Visions in Motion 8：虚実

我々は日常生活の中でどのように情報を受容しているのか？ 筆者の関心の一つである「サイネージ」という分野を取り上...

<https://criticalcycling.com/2023/10/visions-in-motion-8/>



Visions in Motion 9：ルーティン

自転車に乗ることを、嗜好と実用の両立と考えるならば、コーヒーを飲むために焙煎することを、嗜好と実用の両立となぞ...

<https://criticalcycling.com/2023/11/visions-in-motion-9/>



Visions in Motion 10：島巡り

11月に瀬戸内の島々を巡る機会を得て、直島と小豆島について書いてみる（豊島や高松市内については省略）。岡山の宇...

<https://criticalcycling.com/2023/12/visions-in-motion-10/>



Visions in Motion 11：洞窟探検

左半身を下にし、30センチほど進むとコンダクターからは仰向けになるよう指示された。下腹部に蠢く何かを感じながら...

<https://criticalcycling.com/2024/01/visions-in-motion-11/>



Visions in Motion 12：走査（スキャン）

年一度刊行されている『IAMAS紀要』は、教員および外部執筆者による寄稿を中心にメディア表現研究を社会に提示し...

<https://criticalcycling.com/2024/02/visions-in-motion-12/>



レポート：志村翔太

運動体設計+クリティカル・サイクリング早朝盛夏ライド2023

来る7月23日にクリティカル・サイクリングとIAMASの学内プロジェクトである運動体設計との共催による早朝盛夏...

<https://criticalcycling.com/2023/07/morning-ride-2023-summer/>



移動における「確かさ」とは何だろう(1) AIライド編

本記事はサイクリングを通して移動における確かさを探る短期連載の第一回目。会話型AIとのサイクリングの実践記とな...

<https://criticalcycling.com/2023/07/certainty-of-movement-1/>



移動における「確かさ」とは何だろう(2) 直感ライド編

本記事はサイクリングを通して移動における確かさを探る短期連載の第二回目。自らの直感に頼ったサイクリング実践記と...

<https://criticalcycling.com/2023/07/certainty-of-movement-2/>



移動における「確かさ」とは何だろう(3) 修正プロンプトライト編

本記事はサイクリングを通して移動における確かさを探る短期連載の最終回。会話型AIが生成した「偶然」によるサイク...

<https://criticalcycling.com/2023/07/certainty-of-movement-3/>



紙芝居自転車実践記 IAMAS OPEN HOUSE編

紙芝居自転車の存在を知ったのは、移動史を調べている最中のことだった。昭和20年代から30年代、即ち戦後の復興...

<https://criticalcycling.com/2023/08/picture-story-bicycle-1/>



ChatGPTと夏の思い出を作ろう

筆者は夏生まれなので夏が大好きである。秋冬春と消化試合のような季節を肅々と耐え忍び、澄んだ青空に真っ白な入道雲...

<https://criticalcycling.com/2023/09/making-summer-memories-1/>



自転車に乗って狩りへ行こう！

Pokémon GOで一斉を風靡したNianticの新作スマホアプリであるモンスターハンターNowが9月14日...

<https://criticalcycling.com/2023/10/monhan-1/>



サーフ プンガク カマクラを訪ねて

筆者は江ノ電を愛している。そしてASIAN KUNG-FU GENERATIONと「サーフ プンガク カマクラ...

<https://criticalcycling.com/2023/11/surf-bungaku-kamakura/>



自転車語を話すGPTsと富有柿を買いに行こう！

ChatGPTを運営するOpenAI社から「GPTs」という機能がリリースされ、ユーザーが独自にカスタマイズ出...

<https://criticalcycling.com/2023/12/withgpts/>



自転車によるオートマティスム

オートマティスム (Automatism) は、特に芸術や文学の分野において、無意識の表現を重視する技法や思想です...

<https://criticalcycling.com/2024/01/automatism-1/>



モバイル文学(1) ARで小説を表示してサイクリングをする

今回より自転車を使った移動並びに投影技術・テクノロジーを文学表現と融合させること目指し、映像装置に改造した自転...

<https://criticalcycling.com/2024/02/mobileliterature-1/>



レポート：河合将也

ポケモンの「じてんしゃ」から自転車を考える。

筆者は5歳の頃に補助輪を外した自転車に乗ることができるようになり、小さな田舎町を駆け巡っていた。実は筆者はその...

<https://criticalcycling.com/2023/04/pokemons-jitensha/>



なぜ自転車を“漕ぐ”と表現するのか

「自転車を漕ぐ」という表現がなぜ使われるのかについては現時点でインターネット上だけでなく、書物においてもこの情...

<https://criticalcycling.com/2023/05/pedaling-a-bicycle/>



ジブリ作品に見る「象徴」としての自転車

自転車は通常、物理的な距離を移動するための手段、すなわちモビリティとして使用される。しかし、物理的な距離の制約...

<https://criticalcycling.com/2023/06/the-bicycle-symbol-ghibli-films/>



チカーノの"Lowrider Bicycle"

"Lowrider Bicycle"は「チカーノ」と呼ばれるアメリカ西海岸・イーストロサンゼルス
のメキシコ系移...

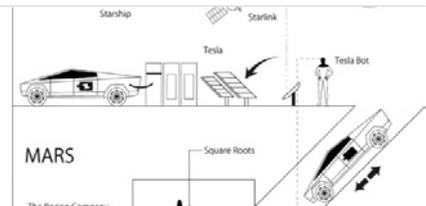
<https://criticalcycling.com/2023/07/lowrider-bicycle/>



モビリティの未来、イーロン・マスクが描く火星移住

イーロン・マスク (Elon Musk)、この名前は、モビリティの未来を革新するビジョ
ナリーとして世界中に知られ...

<https://criticalcycling.com/2023/08/futuremobility-musk/>



自転車の語源

交通史研究家、齊藤俊彦は(日本における自転車の製造・販売の始め、交通史研究 第1
3号)において、彫刻家の竹内寅...

<https://criticalcycling.com/2023/09/自転車の語源/>



こち亀「開発！人間フレームの巻」について

集英社・少年ジャンプで長寿連載された秋本治の「こちら葛飾区亀有公園前派出所」
の主人公、両津勘吉は警察用自転車を...

<https://criticalcycling.com/2023/10/こち亀「開発！人間フレームの巻」について/>



アラン・チューリング：コンピュータの父と自転車

アラン・チューリングは、現代のコンピュータ科学の父とも称される天才的な数学者
である。彼は第二次世界大戦中にエニ...

<https://criticalcycling.com/2023/11/alan-turing-father-of-the-computer-and-his-journey/>



ファットバイクの生まれ変わり

筆者がまだ中学生だった10年ほど前、一部の界隈で「ファットバイク」と呼ばれる極
太タイヤを履いた自転車が一時的に...

<https://criticalcycling.com/2023/12/ファットバイクの生まれ変わり/>



自転車にとっての制御システム

過去に執筆した記事では、人間が自転車にとっての動力源であり、さらにはフレーム
であることを示した。自転車と人間の...

<https://criticalcycling.com/2024/01/自転車にとっての制御システム/>



レポート：塩澄祥大

BMXグラフィティ(1)グラフィティのための自転車を考える

自転車は最高の逃走手段である。都市空間でグラフィティを行った後は特に。機動性が高く、狭い通りや道路を素早く移...

<https://criticalcycling.com/2023/04/bmx-graffiti-1/>



BMXグラフィティ(2)ストリート・カルチャー

ストリート・アートは、公共の場で行われる芸術表現の一形態であり、多くの場合、無許可で都市環境で行われるものであ...

<https://criticalcycling.com/2023/05/bmx-graffiti-2/>



BMXグラフィティ(3) BMXの種類とスタイル

直径20インチ、そして極めて頑丈なフレームがBMXならではの特徴であり、マウンテンバイクのようなサスペンション...

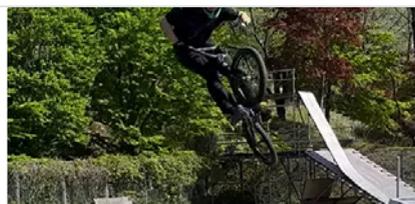
<https://criticalcycling.com/2023/06/bmx-graffiti-3-style/>



BMXグラフィティ(4) BMXショップとパーク

BMXは、街の一般的な自転車店ではなく専門店でしか手に入らない特別な自転車だ。今回はIAMS周辺のBMXショ...

<https://criticalcycling.com/2023/07/bmx-graffiti-4-shop-park/>



BMXグラフィティ(5)プロトタイプ制作篇

これまでの連載では、BMXとグラフィティの歴史や種類について触れてきた。初回で触れた通り、この目的は、グラフィ...

<https://criticalcycling.com/2023/08/bmx-graffiti-5-prototyping/>



BMXグラフィティ(6)制作篇

先月の記事で書いたスプレー缶が噴射可能になったBMXを用いて、色々な絵(グラフィティ)を描いた。今回紹介する...

<https://criticalcycling.com/2023/09/bmx-graffiti-6-drawing/>



BMXグラフィティ(7)制作篇 part2

先月の記事では、6月に制作した習作シリーズを掲載した。主に、トリミングや素材による印象の違いを提示したシリーズ...

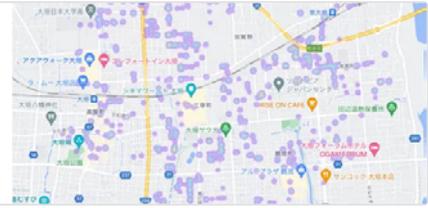
<https://criticalcycling.com/2023/10/bmx-graffiti-6-drawing-part2/>



BMXグラフィティ(8)都市への探索篇

今までの連載では、キャンパスの素材による印象、トリミング、紙の歪みなどに焦点を当ててきた。だが、最終的な作品で...

<https://criticalcycling.com/2023/11/bmx-graffiti-8-explore-the-city/>



BMXグラフィティ(9)考察篇

前回の記事では、室内と都市空間での制作の違いをまとめた。今回の記事では、これまでの探求と撮影した写真に基づき、...

<https://criticalcycling.com/2023/12/bmx-graffiti-9-discussion/>



BMXグラフィティ 個展篇

今までの連載で行ってきたBMX Graffitiだが、文化庁：令和5年度（2023年度）国内クリエイター発表支...

<https://criticalcycling.com/2024/01/bmx-graffiti-exhibition/>



BMXグラフィティ 卒展篇

筆者が通っている大学院IAMASの卒業展示が、明日2月22日から25日まで開催される。詳細はWebサイトを確認...

<https://criticalcycling.com/2024/02/bmx-graffiti-graduation-exhibition/>

